

民法Ⅱ

科目ナンバー 8C302
専門 地方自治・行政 選
択 2単位

和地 郁枝

1. 授業の概要(ねらい)

民法Ⅱでは、主に債権総論から親族相続までを範囲とします。
各回において、講義形式で学習した後、事例問題を通して理解を確認します。

2. 授業の到達目標

前期に開講される民法Ⅰとあわせて、初めて民法を学ぶ学生を対象として、通年で民法の役割や全体像を学び、重要部分について基礎的理解を得ることを目的とします。また同時に、実際の社会における紛争解決に必要とされる法的思考能力や正義・衡平の観念を学ぶことを目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

最終授業時に予定する授業内試験で評価します(定期試験100%)。

4. 教科書・参考文献

教科書

授業はプリントを配布して行います。各自、六法を用意して下さい。
予習用テキストとして、池田真朗『民法への招待』(第5版)税務経理協会(ISBN9784419067670)など。
他のテキスト、参考書、判例集については、適宜授業中に紹介します。

5. 準備学修の内容

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 債権の内容
- 【第2回】 債務不履行
- 【第3回】 多数当事者の債権関係
- 【第4回】 債権譲渡
- 【第5回】 弁済
- 【第6回】 契約総論
- 【第7回】 贈与、売買
- 【第8回】 消費貸借、使用貸借
- 【第9回】 賃貸借契約
- 【第10回】 賃貸借契約と第三者
- 【第11回】 雇用
- 【第12回】 不法行為
- 【第13回】 親族
- 【第14回】 相続
- 【第15回】 テスト、まとめ